

開催趣旨

近年、頻発化・激甚化する水災害や気候変動による水災害リスクの増大に備えるため、あらゆる関係者が協働して流域全体で取り組む『流域治水』を推進するため、「北上川水系流域治水プロジェクト」のフォローアップ方法や協議会の体制、施策の取組状況等について、意見交換を行いました。

次第等

- 開催日：令和 5年 2月10日（金）WEB開催
- 開催時間：10：30～12：00
- 開催場所：岩手河川国道事務所 2階大会議室
- 議事
 1. フォローアップについて
 2. 土地改良区の参画について
 3. 意見交換

出席者

盛岡市、花巻市、北上市、遠野市、一関市、八幡平市、奥州市、滝沢市、岩手町、紫波町、矢巾町、西和賀町、金ヶ崎町、平泉町、東日本旅客鉄道株式会社盛岡支社、北上土地改良調査管理事務所、盛岡森林管理署、国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林整備センター、盛岡水源林整備事務所、岩手県農林水産部、岩手県県土整備部、盛岡地方气象台、北上川ダム統合管理事務所、岩手河川国道事務所

開催状況



近藤事務所長あいさつ



Web開催状況

主な意見等

1. フォローアップについて
 - 4グループ+1についてご了解を頂いた。また、横断的な参加も可能とした。
 - 進め方として、各グループで取組の形、方法等を検討し、協議会等で確認、共有して進めていく。
2. 土地改良区の参画について
 - 田んぼダムに係わるグループにはオブザーバーとして参画することをご了解を頂いた。
 - 参画する土地改良区については、今後調整することとする。
3. 意見交換
 - 田んぼダムグループには市町村の農林部局も参加出来る様に考えて頂きたい。
 - 農業用ため池は、管理されていないものが多く存在するので、活用するにあたっては、慎重に取り組む必要がある。
 - 田んぼダムの実洪水での効果について共有して欲しい。
 - 住宅開発が進み、内水氾濫に対する被害軽減対策が今後重要な課題。
 - 農家の理解を深めるために、田んぼダムマニュアルや分かりやすい広報が必要と考える。なお、推進するためには、①予算の助成②上下流の連携（受益地の人や田んぼの畦畔補強を手伝うとか）③後方支援（農家への敬意・感謝）が必要と思われる。
 - 氾濫域内に家屋が点在している地域への対策について住まいの誘導など難しい面がある。等々。

		河川区域の対策	集水域の対策	氾濫域の対策	参加機関
グループ	個別	施策			参加機関
	#1	河道掘削・築堤・引堤・放水路、ダム・遊水地、輪中堤 ※準用河川、普通河川に限る			矢巾町、奥州市、一関市、北調、岩手県、岩手河国
グループ1	#10	ため池の活用			滝沢市、零石町、盛岡市、矢巾町、紫波町、花巻市、遠野市、西和賀町、奥州市、平泉町、北調、岩手県、岩手河国
	#11	「田んぼダム」			
グループ2	#13	浸水被害防止区域			
	#14	災害危険区域			滝沢市、盛岡市、花巻市、北上市、西和賀町、一関市、岩手県、岩手河国
	#15	住宅等の防災改修（嵩上げ・ピロティ化等）			
グループ3	#18	居住誘導区域、防災指針			零石町、盛岡市、矢巾町、紫波町、花巻市、北上市、奥州市、一関市、岩手県、岩手河国
グループ4	#21	リスク空白域の解消（浸水想定区域・ハザードマップ）			
	#22	要配慮者利用施設の避難確保計画・訓練			岩手町、八幡平市、滝沢市、盛岡市、矢巾町、紫波町、花巻市、遠野市、北上市、西和賀町、金ヶ崎町、平泉町、気象台、岩手県、岩手河国
	#23	迅速・円滑な避難（避難のための情報発信）			